

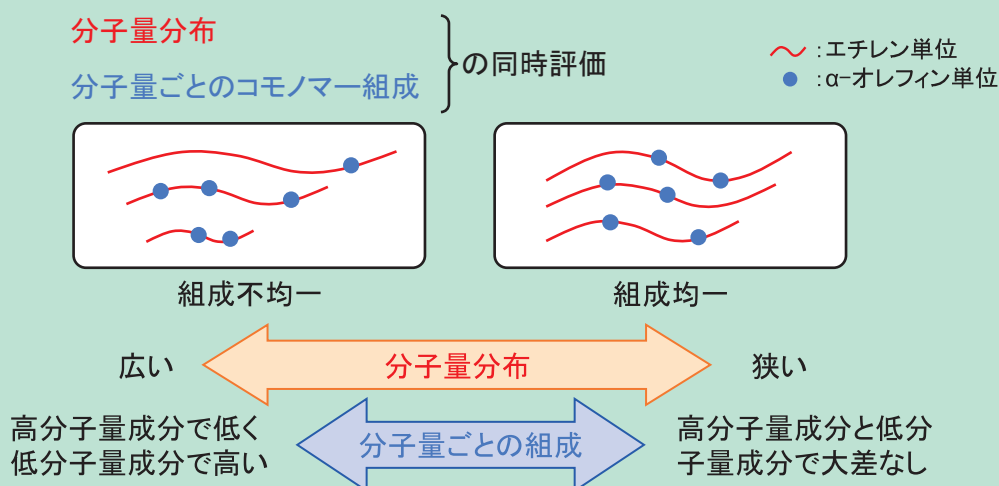
オレフィン系エラストマーの組成分布解析 — 高温GPC-IR法 —

概要

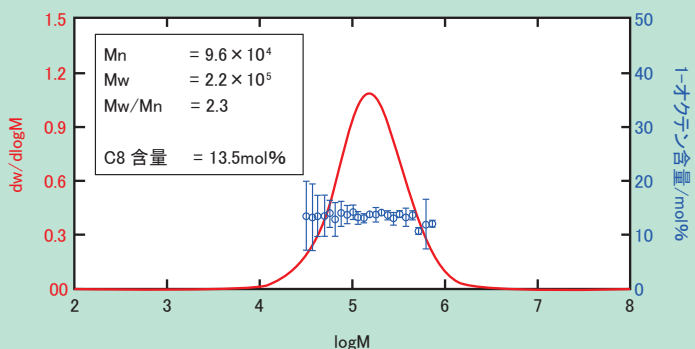
熱可塑性エラストマーとして知られるオレフィン系エラストマーは、樹脂改質（衝撃性やヒートシール性の改善など）や軟質である特徴を活かし、自動車材、フィルムから雑貨まで、幅広い用途に利用されている。オレフィン系エラストマーの性能は、その組成（モノマー種類、量およびその分布）に依存するため、これらを解析することは重要である。

当社では高温GPC装置にIR検出器をオンラインで接続することで、オレフィン系エラストマーの分子量別モノマー組成情報解析を実現した（高温GPC-IR法）。

何がわかるか



測定例(エチレン・1-オクテンランダム共重合体)



1-オクテン含量の定量値
13.5mol% (GPC-IR法)
13.1mol% (^{13}C -NMR法: 基準値)

- ・ エラストマー中の1-オクテン含量は、基準値とほぼ一致
- ・ 分子量ごとの1-オクテン含量は、分子量に依存せずほぼ一定

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎03-5524-3851